

株式会社 ネグジット総研
MMPR事業部

【製薬企業訪問実態調査2017年10月実績】

好印象度ランキング トップは保険薬局は「第一三共」、病医院は「小野薬品工業」、「中外製薬」12月発売の医薬品の情報提供開始！！

医療経営コンサルティング、薬剤師を対象としたプロモーション及び調査を行う株式会社ネグジット総研(所在地:兵庫県神戸市、代表取締役社長:美和 啓樹)は、自社で保有する薬剤師調査モニター292名(保険薬局:198名 病院・診療所・クリニック:94名)を対象に製薬企業訪問実態に関する調査を実施し、結果を公開いたしました。

■ 調査概要

調査期間	2017年9月25日～2017年10月22日
調査対象	薬剤師調査モニター:292名(保険薬局:198名 病院・診療所・クリニック:94名)
調査方法	インターネット・リサーチ
有効回答数	658件(保険薬局薬剤師:457件 病医院薬剤師:201件)

■ 調査結果・トピックス

好印象度1位は、保険薬局が「第一三共」、病医院が「小野薬品工業」、「中外製薬」という結果である。
保険薬局では12月発売のジェネリック医薬品に関する情報提供が多く見受けられました。
病医院では2ヶ月連続で20%超えであった「第一三共」を抑えて「小野薬品工業」、「中外製薬」がトップとなった。
すでに発売されている医薬品に関する内容や勉強会の案内が多く見受けられました。

保険薬局における好印象度トップは10.6%で「第一三共」！！
2017年12月発売のジェネリック医薬品に関する情報提供を開始

保険薬局における好印象度トップは10.6%で「第一三共」という結果になりました。
次いで、9.1%で「東和薬品」、7.1%で「第一三共エスファ」という順位でした。
「東和薬品」は前月19位から5.4ポイントアップで2位となりました。

訪問件数(カバー率)は1位「第一三共」、2位「東和薬品」、3位「エーザイ」、「第一三共エスファ」という順位
でした。

「第一三共」、「東和薬品」の訪問回数が多いですが、他を比較すると大きな差がないことから、少ない訪問回数で、どれだけ好印象を残せたかがカギとなります。

好印象の理由をしてみると、「12月発売のGEに関して(AGとの比較)」や「新薬の勉強会」など、情報提供に関する内容と、「挨拶が礼儀正しく丁寧だった」や「担当交代が残念」など、担当者交代に関する内容が多くあがっていました。

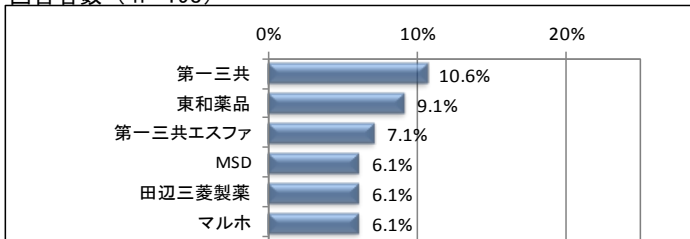
対象データ: 2017年9月25日～10月22日

〔 保険薬局 〕 好印象度と、その訪問目的・内容

保険薬局における好印象度

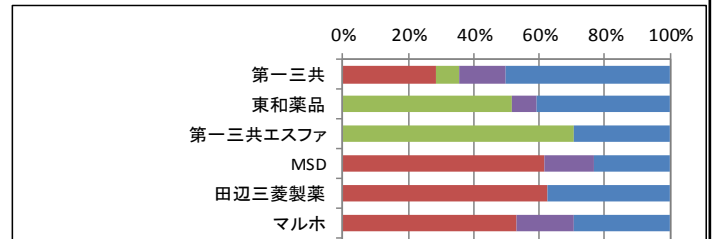
最も良い印象を受けた回答数／アンケート回答者数nで算出。「訪問件数」×「最良率」の指標で、好印象度の大きさを表す。

回答者数 (n=198)



好印象時の訪問目的・内容

好印象を受けた企業の訪問目的・内容の内訳 (複数回答)。
※左記の好印象度を100%にしたときの比率



出典:「製薬企業訪問実態調査」ネグジット総研調べ(2017)

病医院における好印象度は、「第一三共」の3ヶ月連続1位を抑え、「小野薬品工業」、「中外製薬」が11.7%でトップに！！

病医院における好印象度トップは11.7%で「小野薬品工業」、「中外製薬」という結果になりました。次いで、10.6%で「第一三共」、9.6%で「MSD」、「大鵬薬品工業」、「ヤンセンファーマ」という順位でした。

訪問件数(カバー率)は1位「第一三共」、2位「大塚製薬」、3位「MSD」という順位でした。

好印象度トップの「小野薬品工業」は11位、「中外製薬」は7位と、訪問件数(カバー率)1位の「第一三共」と比較すると、20ポイント以上の差がありますが、少ない訪問量の中で好印象を残せている結果といえます。

好印象の理由をしてみると、「製品説明」や「医薬品の適応追加」などの情報提供や「勉強会の案内や提案」、「説明が丁寧でわかりやすい」など、行動に関する評価が高い印象を受けます。

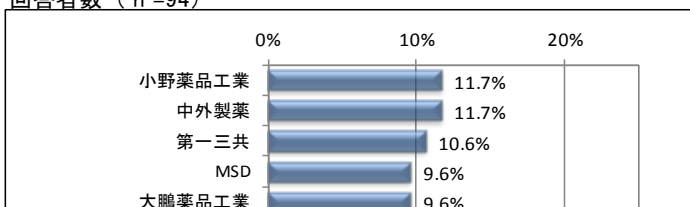
対象データ: 2017年9月25日～10月22日

〔 病医院 〕 好印象度と、その訪問目的・内容

病医院における好印象度

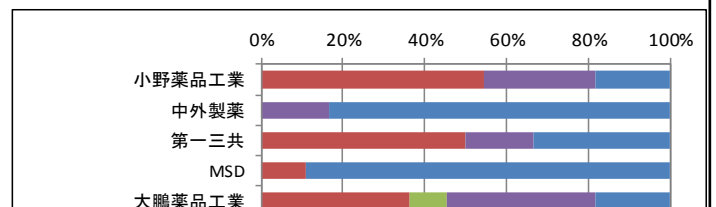
最も良い印象を受けた回答数／アンケート回答者数nで算出。「訪問件数」×「最良率」の指標で、好印象度の大きさを表す。

回答者数 (n=94)



好印象時の訪問目的・内容

好印象を受けた企業の訪問目的・内容の内訳 (複数回答)。
※左記の好印象度を100%にしたときの比率



出典:「製薬企業訪問実態調査」ネグジット総研調べ(2017)

保険薬局は先月に引き続き12月発売の医薬品キーワードが上昇 病医院では「オブジーボ」、「スインプロイク」が再び上昇

保険薬局の医薬品キーワードは「オルメサルタン」(先発品名:オルメテック)、「ロスバスタチン」(先発品名:クレストール)、「アメンリーフ」が先月に引き続き上位を締める結果となりました。

「ロスバスタチン」については、8月実績ではランキング圏外、9月実績では2位、そして今回が1位と、情報提供の量が増加していることがわかります。

また、「ロスバスタチン」の24件を企業別に見てみると、1位は「第一三共エスファ」で7件、2位は「東和薬品」で5件、3位は「日本ケミファ」で4件という結果となりました。

病医院の医薬品キーワードは小野薬品工業の「オブジーボ」が前回3位から1位となりました。

次いで、塩野義製薬の「スインプロイク」が前回圏外から2位という結果となりました。

両製品とも、すでに発売されてはいますが、今回「オブジーボ」は、胃がんに関する情報提供が中心
「スインプロイク」は、使用方法や他剤との違いに関する情報提供が中心であったことがわかりました。

薬効分類については、保険薬局1位は「糖尿病用剤」、病院1位は「その他の腫瘍用薬」でした。

医薬品キーワード・薬効分類

【薬局】

2017年9月実績 (n=454)		2017年10月実績 (n=457)	
順位	医薬品キーワード 件数 割合	順位	医薬品キーワード 件数 割合
1	オルメサルタン 31 6.8%	1	↑ ロスバスタチン 24 5.3%
2	ロスバスタチン 23 5.1%	2	↓ オルメサルタン 23 5.0%
3	アメンリーフ 19 4.2%	3	↑ アメンリーフ 11 2.4%
4	カナリア 16 3.5%	4	↑ モーラス 10 2.2%
5	ネキシウム 8 1.8%	↑	↑ リクシアナ 10 2.2%
6	スインプロイク 7 1.5%	6	↓ カナリア 9 2.0%
	テルミサルタン 7 1.5%	7	↑ シムビコート 8 1.8%
	モーラス 7 1.5%	↑	↑ ジャディアンス 8 1.8%
	モンテルカスト 7 1.5%	9	↑ ビラノア 7 1.5%
10	フェブリク 6 1.3%	↑	↑ ヘパリン類似物質 7 1.5%

【病院】

2017年9月実績 (n=229)		2017年10月実績 (n=201)	
順位	医薬品キーワード 件数 割合	順位	医薬品キーワード 件数 割合
1	カナリア 9 3.9%	1	↑ オブジーボ 8 4.0%
2	エクメット 6 2.6%	2	↑ スインプロイク 6 3.0%
	オブジーボ 6 2.6%	3	NEW キイトルーダ 5 2.5%
4	ベルソムラ 5 2.2%	↑	↑ ベルソムラ 5 2.5%
	リクラスト 5 2.2%	5	↑ エビリファイ 4 2.0%
6	アクテムラ 4 1.7%	↑	↑ ボンビバ 4 2.0%
	エビリファイ 4 1.7%	↑	↑ メマリー 4 2.0%
	シクレスト 4 1.7%	8	↑ エルネオバ 3 1.5%
	ナルサス 4 1.7%	↓	↓ カナリア 3 1.5%
	レミケード 4 1.7%	NEW	NEW ステララ 3 1.5%

〔本件に関するお問合せ〕

株式会社ネグジット総研 MMPR事業部 (担当:本澤)

〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町85-1 ベイ・ウイング神戸ビル5F

TEL : (078)393-2162

FAX : (078)393-2180

E-mail : mmpr@yakuzaishi-di.net

URL : <http://www.mmpr.jp>